

特別企画委員会

委員長 吉田 隆

この委員会は、他の委員会と連携しながら、附属学校が存在意義を明確化し、附属学校の改革に向けて主体的に取り組めるよう、また附属学校の一体感・つながり感を強化する方策を検討し、「これからの附属学校のあり方を考える協議会」（以下、附属学校協議会）を開催してきました。

今年度は第7回目となる「附属学校協議会」を日本教育大学協会と共催する形で実施しました。

第7回「これからの附属学校のあり方を考える協議会」

日時 令和5年11月18日（土）
13：00～16：00

場所 東京学芸大学

共催 日本教育大学協会

全国国立大学附属学校連盟

後援 （一社）全国国立大学附属学校
PTA 連合会

協力 文部科学省、
全国国立大学附属学校教育後援会
連絡協議会

開会挨拶 日本教育大学協会
会長 國分 充
全国国立大学附属学校連盟

理事長 鎌田 正裕

基調講演 「附属学校のガバナンスのあり方」を考える

兵庫教育大学附属小学校・中学校
校長 富田 明德

ラウンドテーブル

「附属学校のガバナンスのあり方」
について、グループ討議

参加者 文科省1名
全附連78名、
全附P連25名、
全附後連9名
合計 113名

内容 ・ 校園長の常勤化
・ 働き方改革

- ・ ICT の活用
- ・ 部活動の地域移行
- ・ コミュニティスクール
- ・ 人材確保
- ・ 教員養成
- ・ スクールロイヤーの活用
- ・ 外部人材の活用 など

多岐にわたる内容について情報交換および議論がされました。

<休憩>

文部科学省説明

「国立大学附属学校のガバナンス
について」

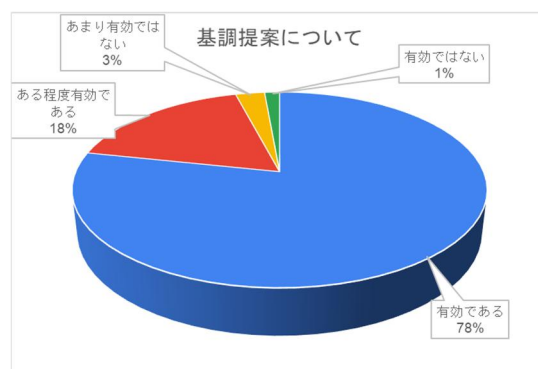
文部科学省総合教育政策局教育人材政策
課教員養成企画室
室長 小倉 基靖 様
全附後連説明

「国立大学附属学校教育後援会の現状と
あるべき姿」

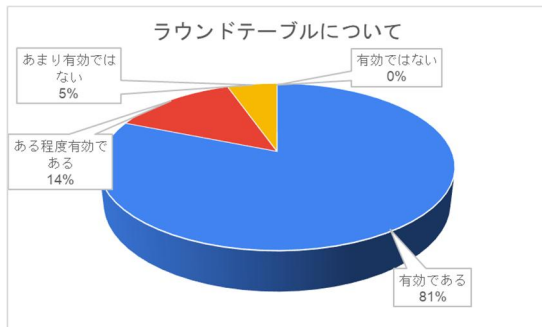
全国国立大学附属学校教育後援会
連絡協議会会長 寺本 俊彦
閉会挨拶 （一社）全国国立大学附属学
校 PTA 連合会会長 桑名 良尚

以下、附属学校協議会終了後のアンケートの集計結果となります。

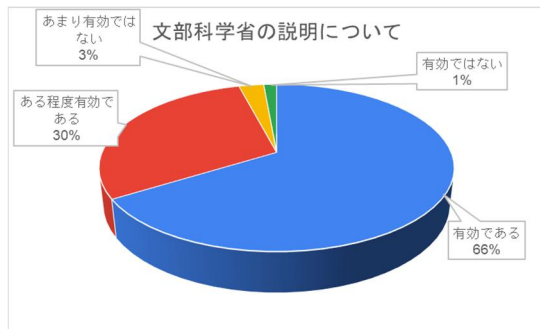
1. 本日の基調提案はこれからの附属学校のあり方について考えるのに有効でしたか。



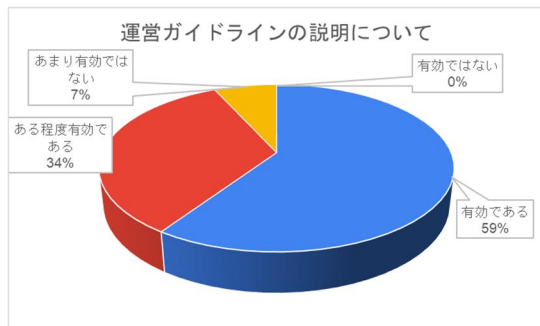
2. 本協議会のラウンドテーブル（グループ討議）形式はこれからの附属学校のあり方について考えるのに有効でしたか。



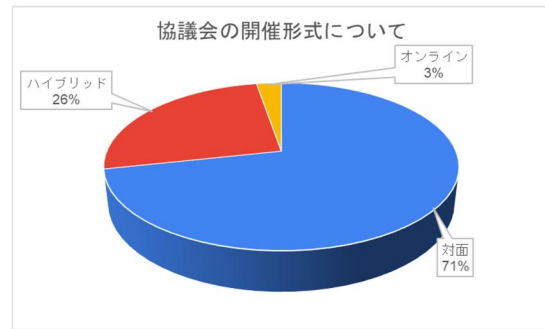
3. 本日の文部科学省説明はこれからの附属学校のあり方について考えるのに有効でしたか。



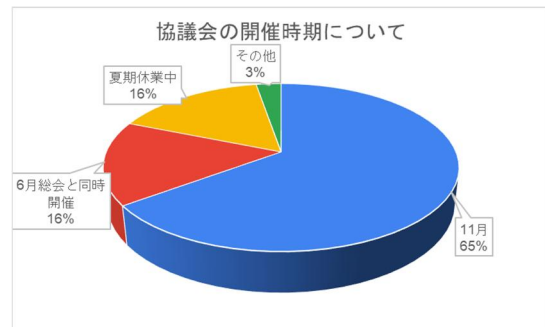
4. 本日の全附後連「運営ガイドライン」の説明はこれからの附属学校のあり方について考えるのに有効でしたか。



5. 本日の附属学校協議会は対面で実施しましたが、今後、どのような開催を希望されますか。



6. 本協議会の開催時期について伺います。



「附属学校協議会」を終えて

コロナ禍を経て、対面での協議会を昨年度に引き続き開催しました。多くの参加者を得て、また、全附P連や全附後連の方々にもグループ討議の記録等でお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

今回の協議会のテーマが「附属学校のガバナンスのあり方」としましたが、その後、令和6年1月19日に文部科学省より「国立大学附属学校における適切な教育課程の編成・実施等について」の通知が発出され、まさに国立大学による附属学校のガバナンスが問われる事態となりました。この機会に公教育のモデル校となれるよう、全国の附属学校が法令に準拠した教育を実施しつつ、これからの日本の教育を支えていけるように自らの取組を振り返ることが求められています。本協議会のテーマを今後は実のあるものにして取組を進めていく必要を切に感じる事となりました。